

日教組「2024年 学校現場の働き方改革に関する意識調査」

調査結果の概要のポイント

1. 調査の目的

2024年度の学校現場実態について、2018年からの経年比較をおこなうとともに社会に発信する。
あわせて、文科省・教育委員会との交渉・協議に活用し、「実感できる働き方改革」につなげる。

2. 調査方法 Web 調査

3. 時期 1学期における通常の1週間について調査

調査期間：24年7月12日～9月16日

2020年、2022年は9月に調査

4. 調査対象者 全国の公立学校教職員

5. 回答者数 11,844人

6. 調査結果の概要【2024年のポイント】

第1章 教員の労働時間の実態

第5章 教員の部活動指導について

【考 察】 ページは本冊

第1章 教員の労働時間の実態 P.8~

在校時間は、経年変化をみると、勤務日・週休日ともに徐々にではあるものの、縮減されてきている。

自宅仕事時間は、経年変化では、短縮は微減となっている。

週休日の在校等時間は、学校種では中学校・高等学校、また、部活動顧問が長い。P.15~

休憩時間は依然として労基法違反状態が常態化している実態 P.29~

希望する授業準備時間を在校等時間の中で確保するとすれば、授業時間の2コマから3コマが必要となる。P.30~

授業準備に占める自宅準備時間の割合は平均で29.9%で、授業準備を自宅で行っている実態であり、上記自宅仕事時間の減らない要因の1つと考えられる。

第2章 36協定の締結状況 P.35~

36協定未締結の学校・職場がある、締結時間を超えて勤務している、未締結で時間外・休日勤務をしている実態も調査から明らかになっている。

第3章 教職員の勤務の把握状況 P.39~

管理職による客観的勤務時間管理がすべての学校・職場で行われていない、休日の勤務について把握されていない、自身の勤務時間を確認できない、自身の勤務時間と違った時間が勤務記録とされている、など実態から課題が挙げられる。

第4章 学校における働き方改革の進捗状況 P.43~

3分類 [基本的に学校以外が担うべき業務] 業務移行は停滞
業務移行のすすんでいる学校では在校等時間が短くなっている。

第5章 教員の部活動指導について P.47~

休日部活動の地域移行については、中学校、高等学校で、部活動指導員の十分な配置がすすんでいないこと、地域移行の進捗状況については、中学校で計画中也含めると65%を超えているものの30%以上が「わからない」実態であり、高等学校については77%が「わからない」であり、移行・移行中・計画中で20%強と、すすんでいない実態となった。

移行後、休日の部活動にどのようにかわりたいかの質問では、中学校、高等学校で「関わりたくない」が45%前後で、部活動顧問ではさらに高い割合となった。「兼職兼業申請をして積極的に関わりたい」教員は10%前後にとどまっている。

週の法定労働時間を 20 時間 54 分、所定労働時間を 22 時間 9 分オーバー

(単純に月 4 週として)法定労働時間 83 時間 36 分/月、所定労働時間 88 時間 36 分/月

減らない自宅仕事時間

持ち授業時数は減らしてほしい。授業準備時間はもっと欲しい。

休日部活動の地域移行をすすめることが必要。高等学校への拡大が必要。

労基法違法状態にある休憩時間、36 協定

勤務時間把握は 8 割弱 土日の把握は 5 割強

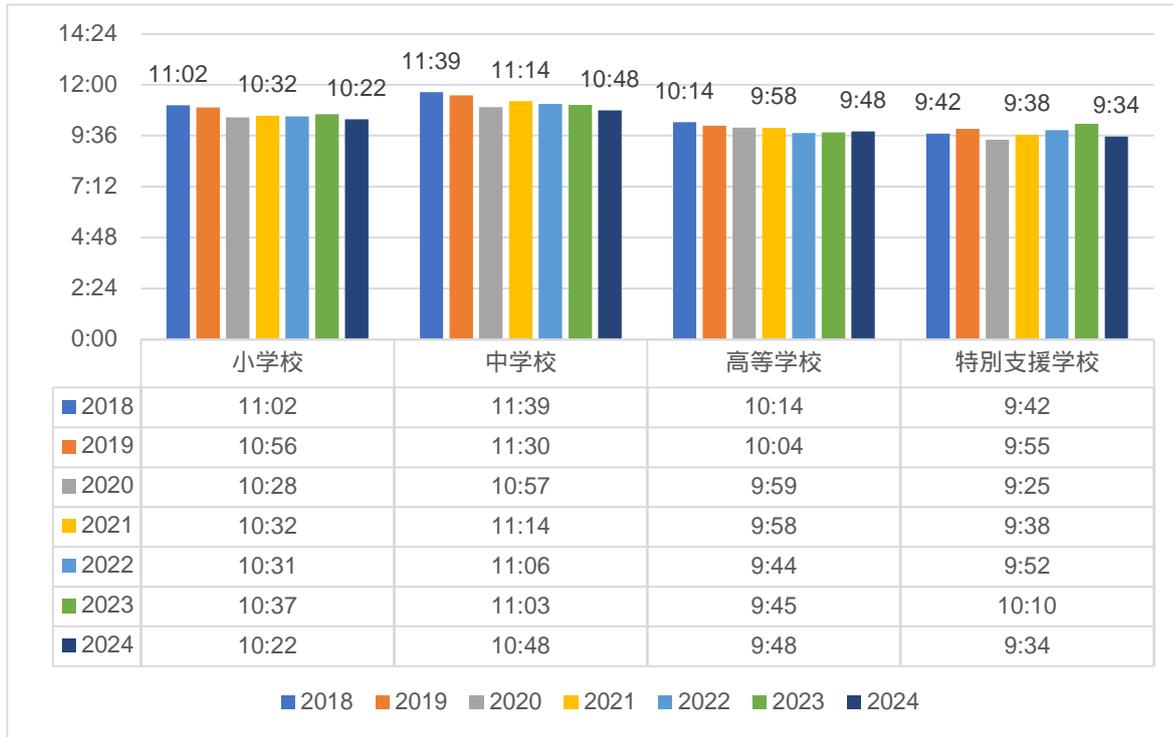
客観的勤務時間把握は長時間労働是正の大前提

すすまない業務移行 国による支援が必要

第1章 教員の労働時間の実態 P.8~

1. 勤務日における労働時間

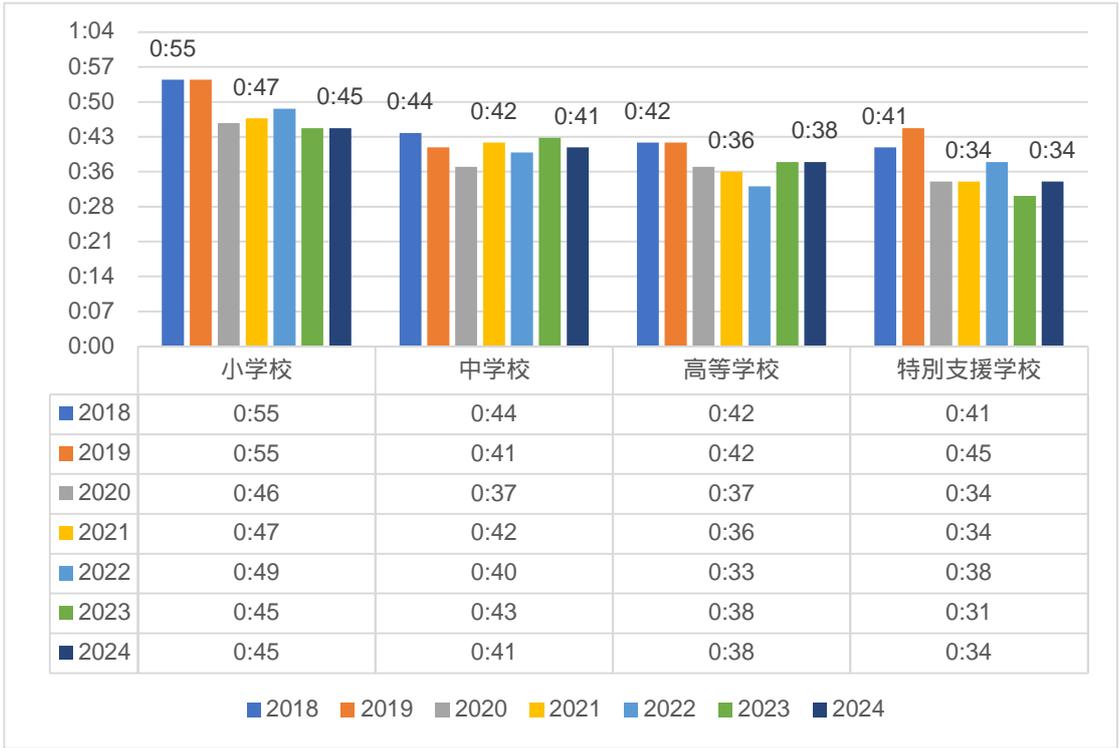
教員の勤務日（月～金）における在校等時間（1日平均）



【勤務日の在校等時間の変化】 縮減傾向

	平均	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
2018	11 : 07	11 : 02	11 : 39	10 : 14	9 : 42
2024	10 : 23	10 : 22	10 : 48	9 : 48	9 : 34
増減	0 : 44	0 : 40	0 : 51	0 : 30	0 : 10

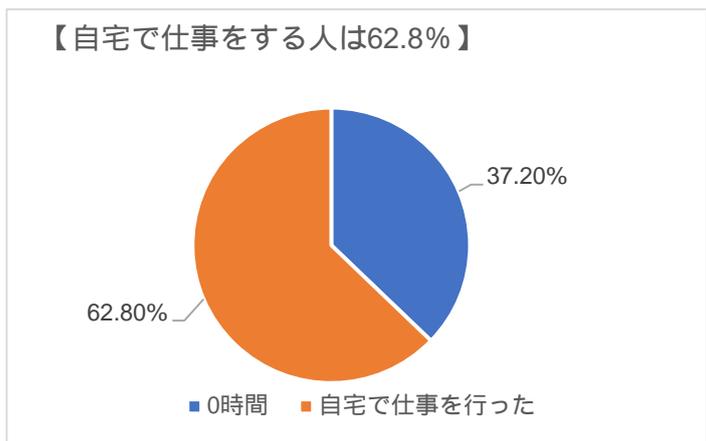
教員の勤務日（月～金）における自宅での仕事時間（1日平均）



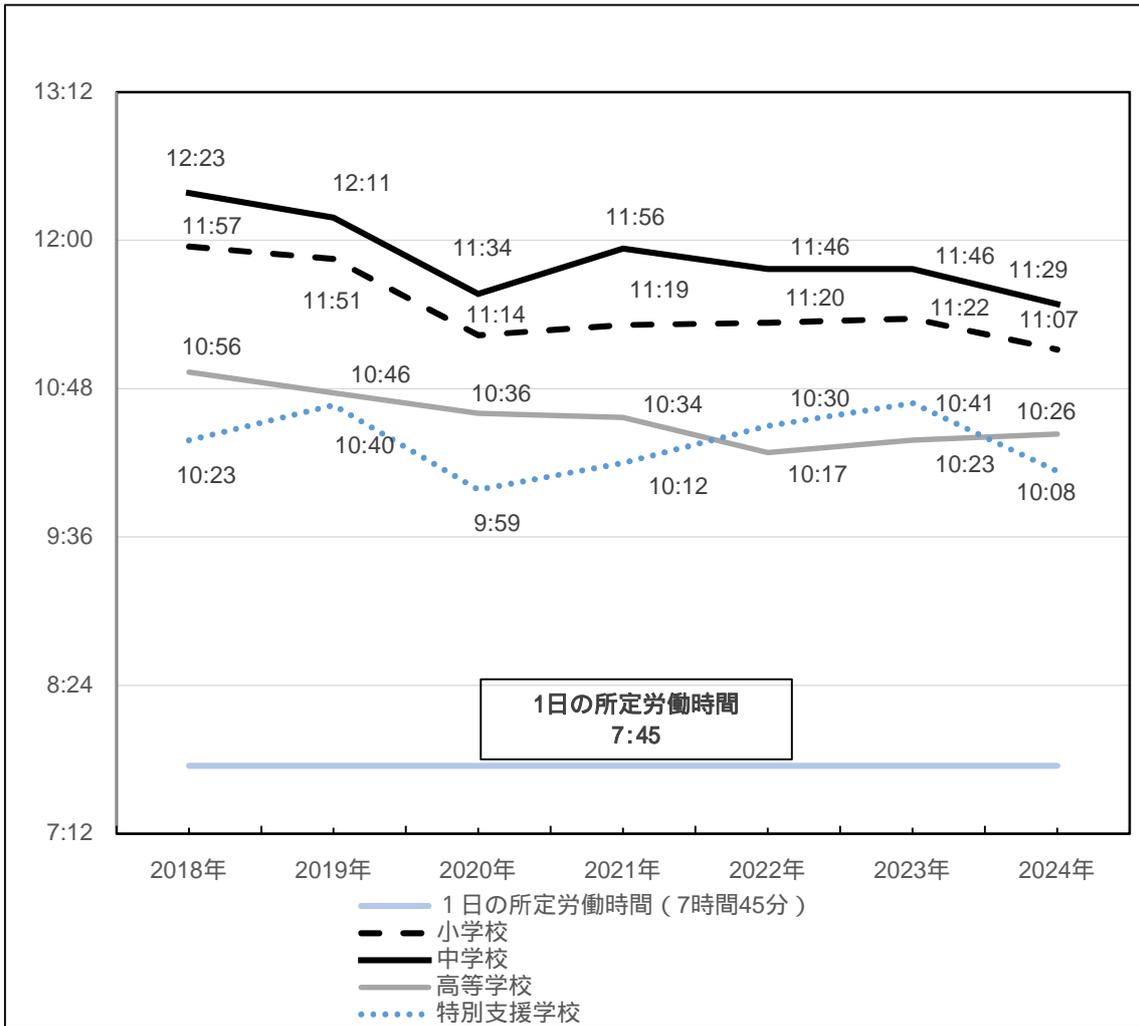
【勤務日の自宅での仕事時間の変化】 大きく短縮はされていない

	平均	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
2018	0 : 51	0 : 55	0 : 44	0 : 42	0 : 41
2024	0 : 43	0 : 45	0 : 41	0 : 38	0 : 34
増減	0 : 08	0 : 10	0 : 03	0 : 04	0 : 07

自宅で仕事をする人の割合

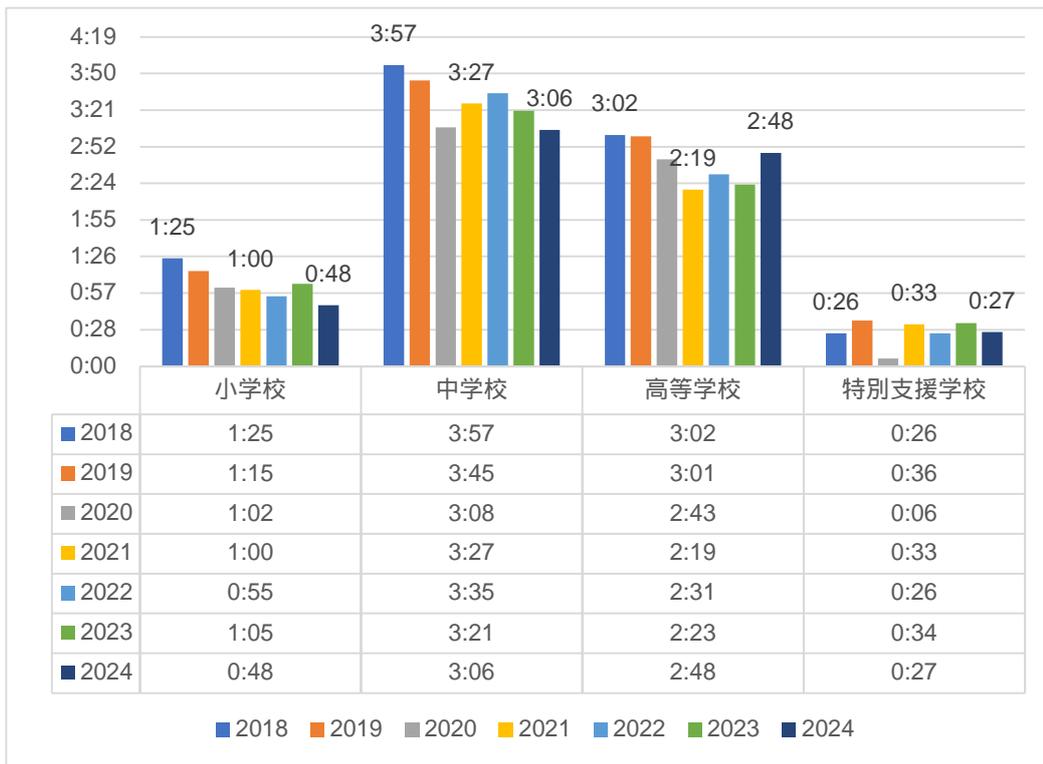


【勤務日の教員の労働時間】(在校等時間と自宅仕事時間の小計)



2. 週休日における労働時間

教員の週休日（土・日）における在校等時間（1日平均）

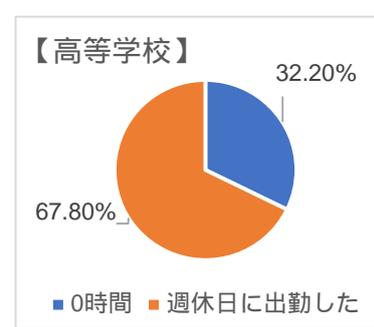
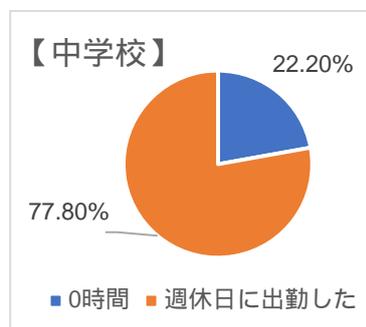
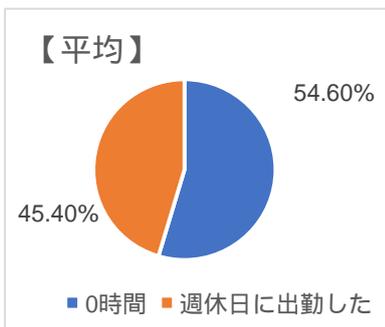


【休日の在校等時間の変化】 中学校で1時間弱の短縮、小学校では30分程度の縮減

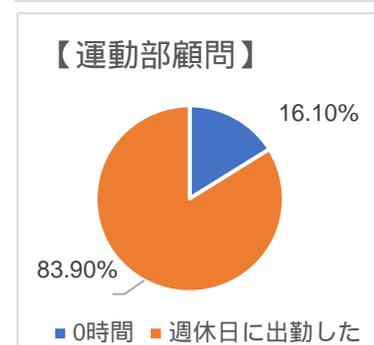
	平均	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
2018	2 : 10	1 : 25	3 : 57	3 : 02	0 : 26
2024	1 : 31	0 : 48	3 : 06	2 : 48	0 : 27
増減	0 : 39	0 : 37	0 : 51	0 : 14	0 : 01

中学校・高等学校で長い

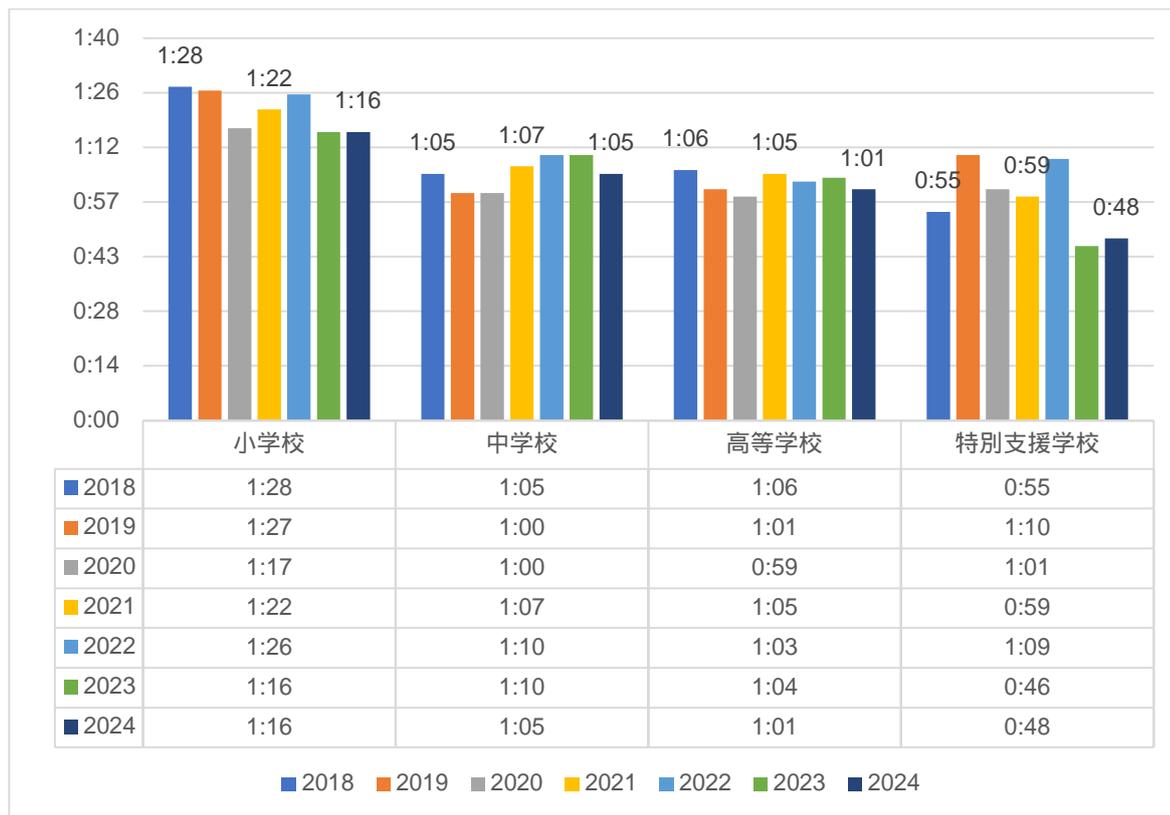
休日の出勤した人の割合



中学校・高等学校で休日の出勤した人の割合が高い



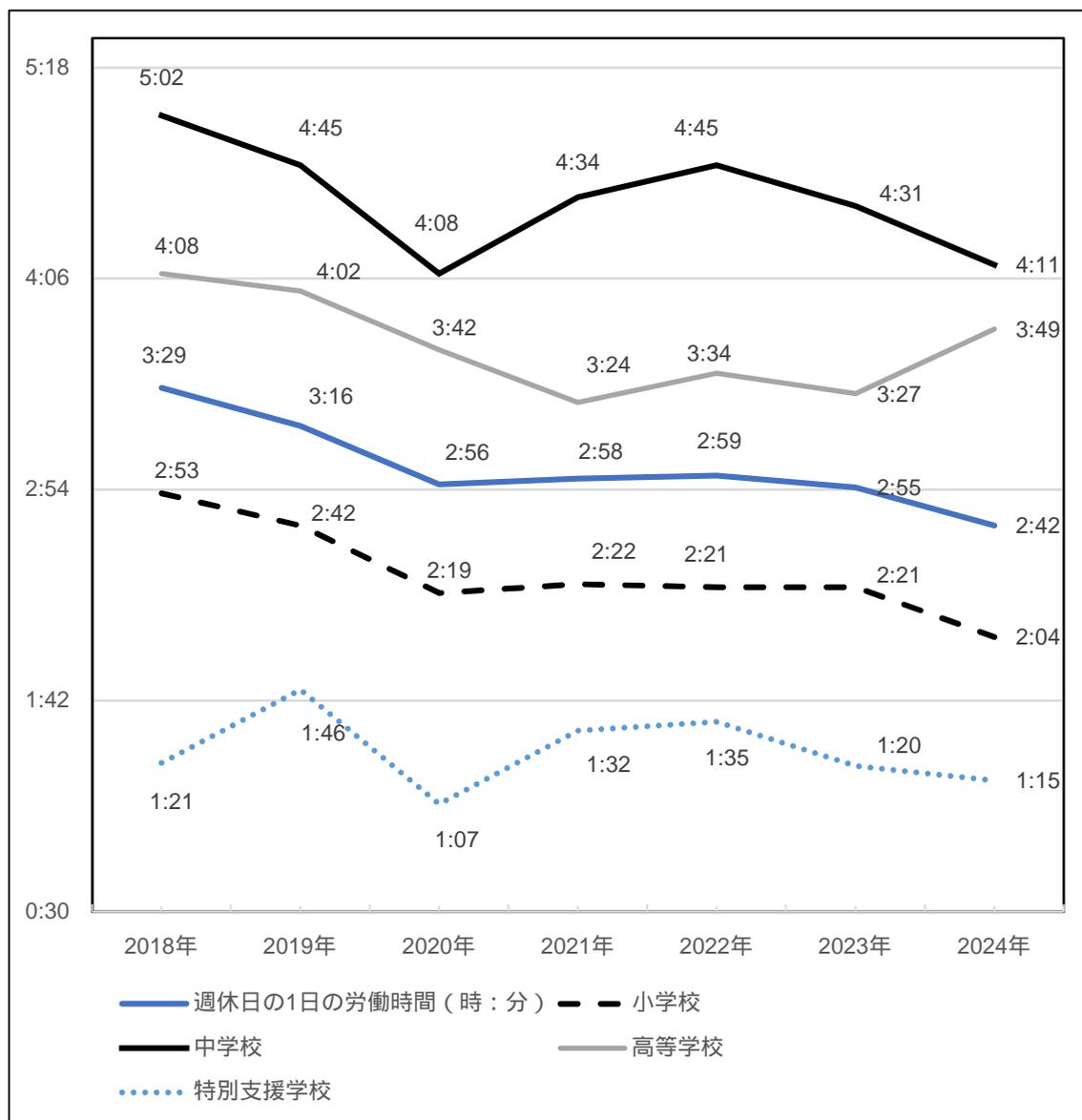
教員が週休日に自宅で行った仕事時間



【休日の自宅業務時間の変化】 小学校で12分減ったものの、大きな変化はない

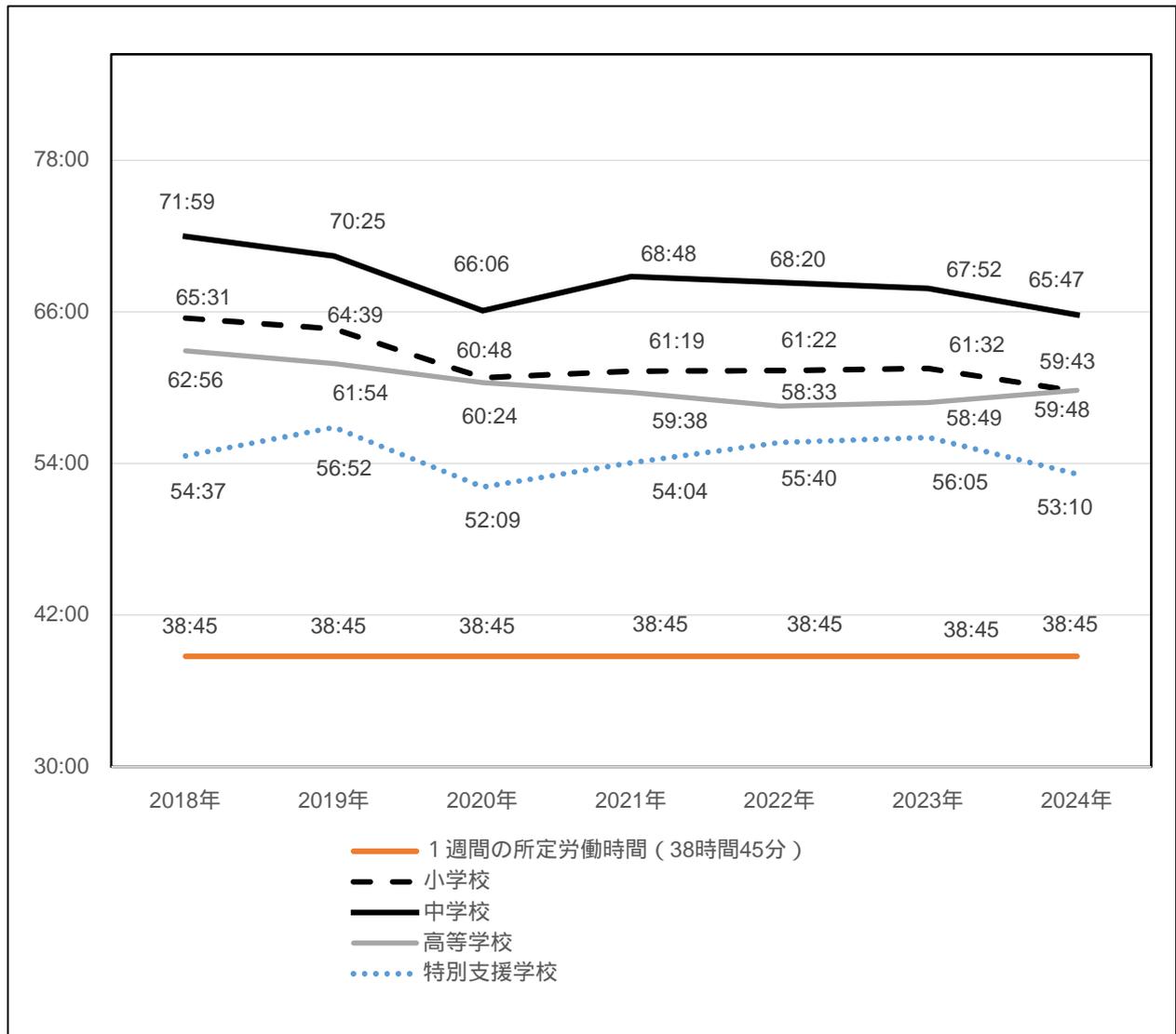
	平均	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
2018	1 : 19	1 : 28	1 : 05	1 : 06	0 : 55
2024	1 : 11	1 : 16	1 : 05	1 : 01	0 : 48
増減	0 : 08	0 : 12	-	0 : 05	0 : 07

【週休日の教員の労働時間】(在校等時間と自宅仕事時間の小計)



3. 教員の1週間の労働時間

【学校種別にみた教員の1週間の労働時間】



【1週間の労働時間（勤務日・週休日、在校等時間・自宅仕事時間）の変化】

	平均	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
2018	66 : 48	65 : 31	71 : 59	62 : 56	54 : 37
2024	60 : 54	59 : 43	65 : 47	59 : 48	53 : 10
増減	5 : 54	5 : 48	6 : 12	3 : 08	1 : 27

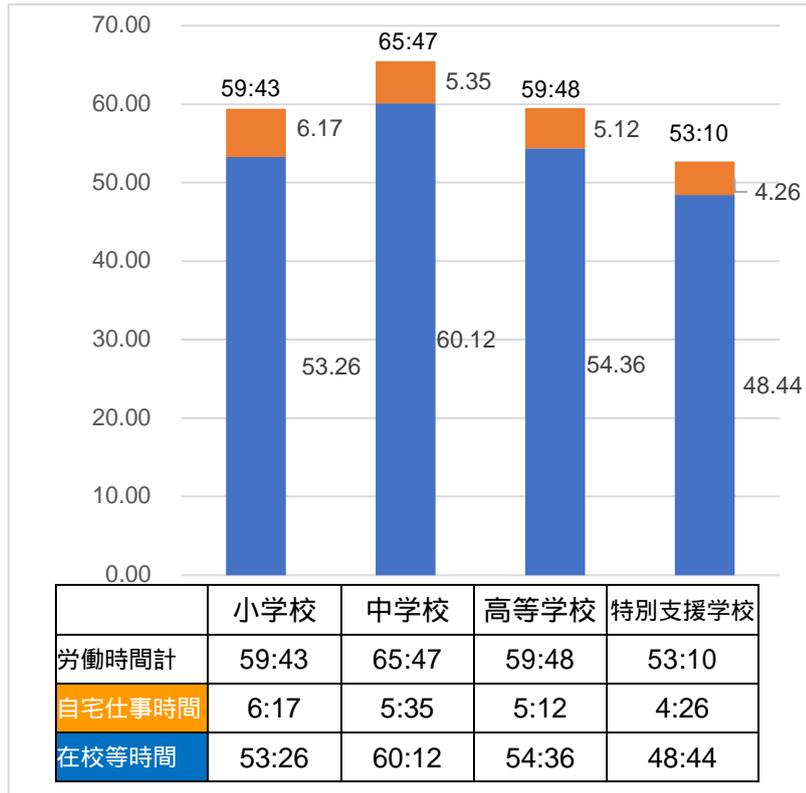
法定労働時間は 40 時間、所定労働時間は 38 時間 45 分

法定労働時間を 20 時間 54 分上回り、所定労働時間を 22 時間 9 分上回る

所定労働時間を超えている 22 時間 9 分を単純に 4 倍して月換算すると
88 時間 36 分/月

最も長い中学校教員では 27 時間 2 分/週 × 4 = 108 時間 8 分/月

【校種別】



5. 1 週間の持ち授業時数

授業時数の現状と望ましい授業時数、その差

	現 状		望ましい		差 (平均値)
	中央値	平均値	中央値	平均値	
小学校	25.00	23.44	20.00	19.70	3.75
中学校	19.00	18.00	15.00	14.84	3.17
高等学校	16.00	15.75	13.38	13.38	2.37
特別支援学校	22.00	20.30	18.00	17.08	3.22

| 12

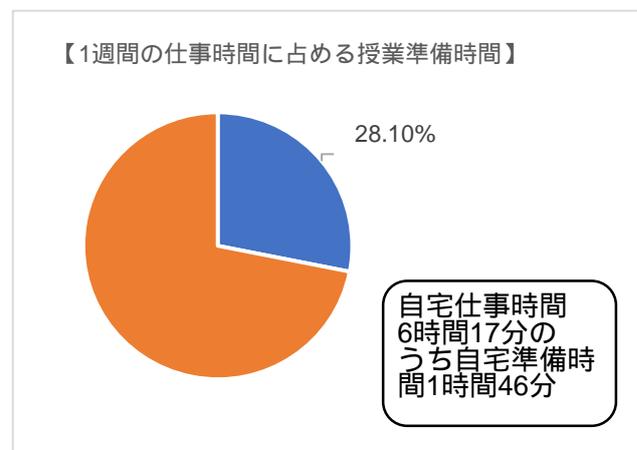
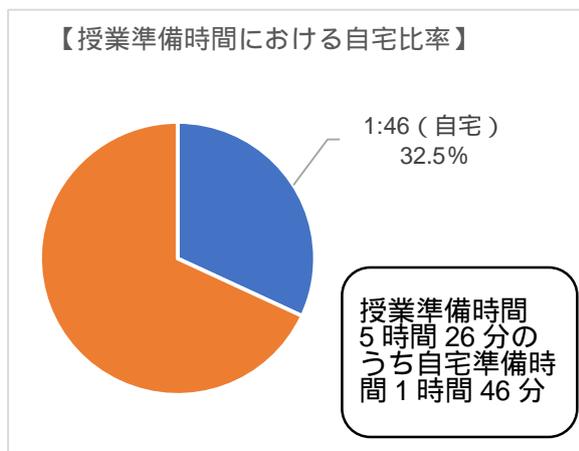
表の数値は小数点第 2 位まで表示しておりますが、実際にそれ以下も続いているため、複数の項目で差をみる場合などは±0.01 ポイント程度のズレが生じることがあります。

授業準備時間の現状と希望する準備時間、差

	現 状	自宅での 準備時間	自宅準備時 間の割合	1 週間の仕 事時間に占 める授業準 備時間	希望する準 備時間	差
平 均		1 : 40	29.9%	28.0%		
小学校	5 : 26	1 : 46	32.5%	28.1%	6 : 18	0 : 52
中学校	5 : 12	1 : 25	27.2%	25.4%	6 : 16	1 : 04
高等学校	7 : 27	1 : 47	23.9%	34.3%	9 : 00	1 : 33
特別支援学校	5 : 17	1 : 15	23.7%	28.2%	6 : 06	0 : 49

授業準備時間に占める自宅準備時間の割合

【小学校】授業準備時間 5 時間 26 分のうち、自宅で行っている時間は 1 時間 46 分で 32.5%
1 週間の自宅での仕事時間 6 時間 17 分のうち授業準備の比率は 28.10%

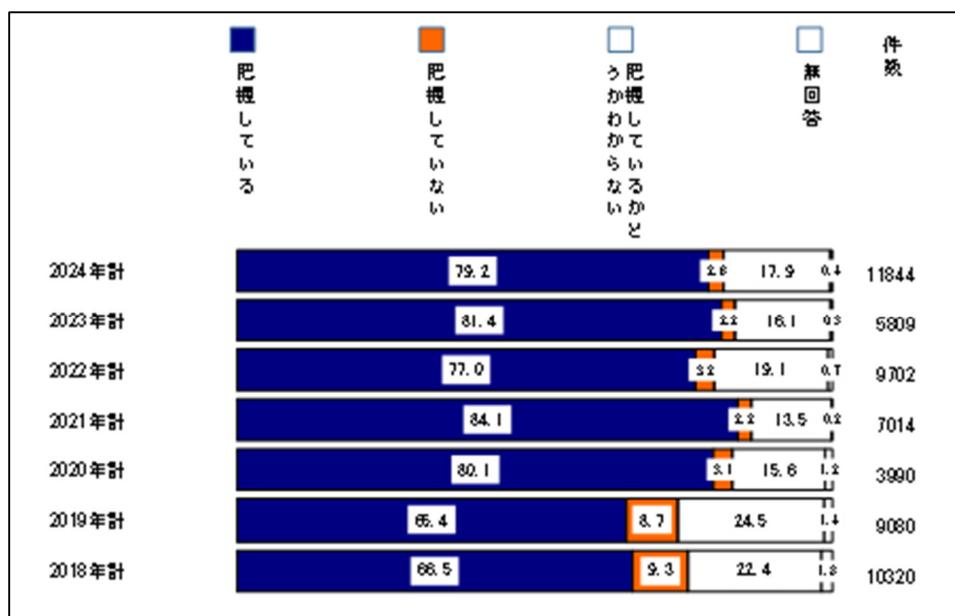


第3章 教職員の勤務の把握状況 P.39～

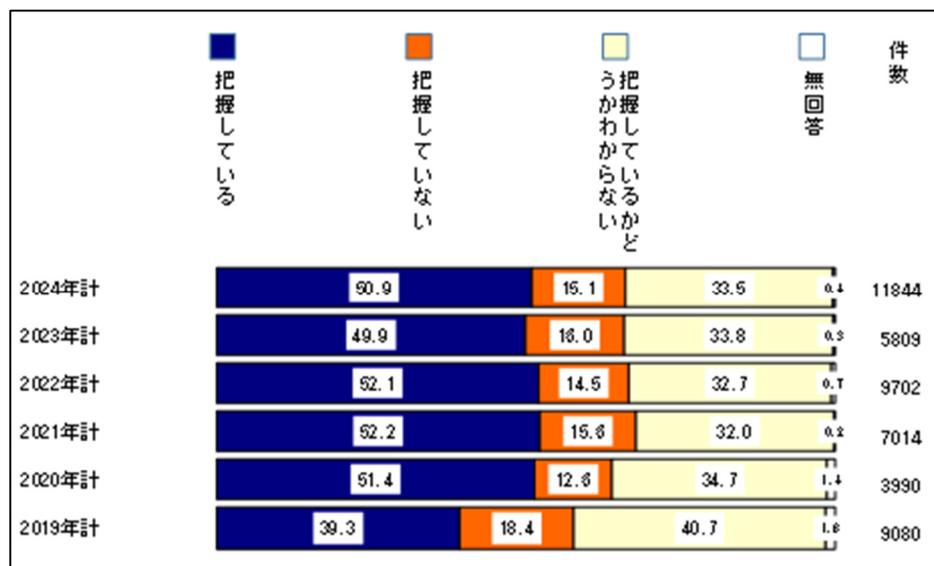
管理職による出退勤時刻「把握している」79.2%（勤務日）

休日（土・日、祝日）の学校勤務「把握している」33.5%

<勤務日の勤務時間の把握>



<休日の学校勤務>



第5章 教員の部活動指導について P.47~

部活動指導員の「十分な人数が配置」は6.5% <配置されている>は4割強と半数を下回る
 休日部活動の地域移行の進捗状況は、2割を下回り「わからない」が半数
 休日の部活動の地域移行へのかかわり方

- ・中学校教職員の半数以上、高等学校教職員の半数弱が「関わりたくない」
- ・「頼まれれば関わってもよい」は1.5割強
- ・「兼職兼業申請で積極的に関わりたい」は中学校・高等学校で1割前後

